

「地球温暖化防止すごろく (2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

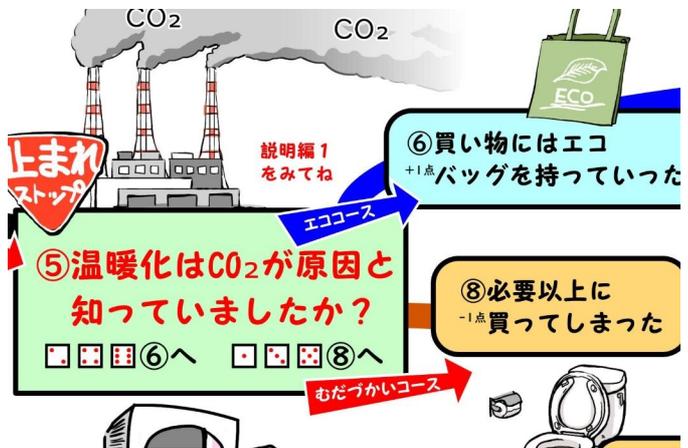
大津市(滋賀県の県庁所在地)が制作した「地球温暖化防止すごろく」は、インターネットで公開されていて、誰でもダウンロードして利用できる。私はA3の用紙(あえて再生紙)にカラー印刷して、6年生の各研究所(班)に配布して試してみた。



子どもたちにとっても新鮮な体験のようで、どの子どもも結構夢中になってやっている。



最終的にゴールした時に、持ち点(コインの枚数)が多い順に、順位が決まる。4人が参加した場合1ゲームは15分ほどで終わるので、「人生ゲーム」のように長丁場にはならない。



途中何力所か「エココース」と「むだづかいコース」の2つに分かれる場所があるのが面白い。エココースは加点のますが多く、むだづかいコースは減点のますが多くなっている。



子どもたちの「ふり返り」の文章で多かったのが、この「ます」の文の意味がわからないというものだった。これは「暖房便座」の蓋を閉めておくと、電力消費量が少なく済むという意味だ。閉めない場合と比較して、年間数十kgのCO₂排出削減になるという。



スタートでは「持ち点 20 点」をもらえる。つまり、私が作った「紙のコイン」を 20 枚もらってゲームに参加することになる。すごろくの「ます」には、「水色のます」と「オレンジ色のます」の 2 種類があり、それぞれ「地球環境に良い事こと」「地球環境に良くないこと、または温暖化の影響」が書いてある。水色に止まると加点、オレンジに止まると減点になる。